

# 議会だより

9月定例会 No.13  
平成20年11月1日

発行 石川県志賀町議会

し  
か  
*Shika*



	ページ
新副議長に越後 敏明議員	2
議員政治倫理上条例を制定	3
新志賀高校支援の取り組みは (一般質問)	8
原発サミット 活発に意見交換	10



走って・踊って・笑って 楽しく運動会 (すばる幼稚園)

9月定例会は、9月4日から17日まで14日間の会期で開かれました。

定例会の最終日、田中 正文副議長から辞職願が提出され、全会一致で辞職が許可されました。引き続き、副議長の選挙が行われ、越後 敏明議員が副議長に当選しました。

新副議長に

## 越後 敏明 議員



### 副議長の要職歴

平成19年6月から、総務常任委員長をはじめ、生活環境等対策特別副委員長、旧町農林建設常任副委員長を歴任。2期。

この定例会では、町長提出の20年度各会計の補正予算、工事請負契約の締結、条例の一部変更などの議案27件、任命1件、同意3件、陳情1件を審議し、それぞれ全会一致で可決、採択しました。

議会議案として、議会議員政治倫理条例及び施行規則の制定、議会会議規則の改正、意見書案2件が最終日に提出され、うち政治倫理条例及び施行規則の制定については賛成多数で、その他の案件は全会一致で可決されました。

また、19年度各会計決算の認定は、決算特別委員会を設置し、閉会中に審議することにしました。

## 議会全員協議会

## 正規の議会活動に位置付け

9月1日に施行された地方自治法の改正で、法律中「議会は、会議規則の定めるところにより、議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行うための場を設けることができる。」の規定が新たに設けられたことから、全員協議会を法律上の正規の議会活動として位置づけるため、会議規則に規定しました。

これにより、今まで法的根拠の無い事実上の会合であった全員協議会が、正規の議会活動と位置付けられました。

### 常任委員会委員の変更

■総務常任委員会委員長  
新・田中 正文 議員  
旧・越後 敏明 議員

# 政治倫理条例

## 賛成多数で可決

賛成13 反対3 棄権1

定例会最終日の9月17日、「町民全体の奉仕者として、信頼に値する倫理性を自覚し、自己の利益を図らないこと」を目的とした町議会議員政治倫理条例案および施行規則案が提出されました。

### 提案趣旨

町政が町民の厳粛な信託によるものであることを認識し、その担い手となる町議会議員が、町民全体の奉仕者として、町民の信頼に値する倫理性

提出者 稲村 幸雄  
賛成者 田中 正文  
下池 外巳造  
桜井 俊一  
越後 敏明

を自覚するとともに、自己の地位による影響力を不正に行使して自己の利益を図ることのないよう必要な措置を定めようとするものである。

議員としてのモラルや政治倫理の確立について、町民に見える形で議会として姿勢を示し、公平公正な開かれた町政発展に貢献する決意として提出する。

### 討論 反対する

南 政夫 議員

2年前に「町議会議員の公共事業等の請負契約対象除外に関する決議」を賛成多数で可決をしたが、その決議より規制が緩められている。「その該当企業は自粛をすべし」が「該当する企業の総事業費の10%」まで、公共の施設の事業に関わってもいいということ

となり、「議員の配偶者ならびに3親等以内の血族および姻族の経営する企業」が、「配偶者並びに2親等の血族」と、その範囲も狭められている。最終日まで何の議論もされないまま、ほんのしばらくの説明で、議決ということにも納得がいかない。以上の理由により、この条例案に反対する。

### 条例の要旨(抜粋)

この条例は、政治倫理基準、請負契約等に関する遵守事項、政治倫理審査会の設置などの条項を含め全9条からなり、公布日(平成20年9月17日)から施行されています。同条例の施行に必要事項を定めた規則についても、同日から施行しています。

#### 工事等契約に関する遵守事項

1 議員が役員をしている企業、実質的に経営に携わっている企業に対して、

調査請求 議員5人以上の連署で、違反事実を証する書面を添えて調査請求ができます。

町との公共工事、業務委託および物品購入の契約、元請企業との下請けを辞退させなければならない。

#### 審査会

調査請求を受けたら、学識経験者3人、議員2人で構成する審査会を設置して調査を行います。

#### 審査の結果

違反議員には辞職勧告決議案の提出、警告、その他必要な措置をとり、その旨を公表できるようにしました。

2 議員の配偶者、2親等内の血族もしくは同一家族が役員をしている企業、実質的に経営に携わっている場合は、町との契約・元請企業との下請けを自粛するよう努めなければならない。  
※1、2に関して、企業の年間全体業務量に対して町との契約量が10%を超えないときはこの限りでないとしました。

## 富来病院に神経内科を新設

平成20年度の診療報酬改定に伴い、神経内科を新設しました。また、後期高齢者医療制度の発足により、老人保健法が高齢者の医療確保に関する法律となったことから必要な改正を行いました。

(全員賛成)



## 大西生活環境施設の所管替え

稗造地区の集会施設である大西生活環境施設を農林水産課から生涯学習課へ所管替えしました。

(全員賛成)

## 町低温自動ラック倉庫の指定管理者に志賀農業協同組合

平成15年に締結した指定管理協定が今年12月31日に期限を迎えるため、平成25年12月31日までの期間を定め、志賀農業協同組合を指定管理者に指定するもの。

(全員賛成)



## 町道認定

### ◆町道2030号経塚線

福浦港地内の延長450m



### ◆町道167号片倉ひり台線

高浜町地内の延長57m



(以上2件全員賛成)

## 20年度各会計別補正後の総額

一般会計	145億9,019万円	
国民健康保険	29億1,214万円	
老人保健	3億6,549万円	
後期高齢者医療	3億120万円	
農業集落排水	7億3,843万円	
公共下水道	18億5,339万円	
地域し尿処理	5,073万円	
介護保険	24億9,458万円	
ケーブルテレビ	13億5,491万円	
町立診療所	1億6,364万円	
簡易水道	2,572万円	
水道	収益的収支	6億4,728万円
	資本的収支	6億9,294万円
病院	収益的収支	12億8,589万円
	資本的収支	1億5,639万円

(金額は1万円未満切り捨て)

## 補正予算

### 平成20年度一般会計

# 3億7,019万円増額

20年度の一般会計補正予算では、公立学校施設整備費補助金、漁業振興特別基金からの繰入金および19年度事業の精算による老人保健特別会計からの繰入金などを増額し、歳出では、人事異動に伴う人件費の組み替え、事業費の増額および特別財政基金などの各種基金の積み立てなど、歳入歳出それぞれ3億7019万円を増額補正し、総額145億9019万円となりました。

(全員賛成)

## 請負契約変更

安心・安全の基盤整備が着々と

### ケーブルテレビ施設装置設置工事

当初、ONU、IP音声告知端末等7342台の工期内設置台数を見込んだが、工期内にこれを越える見込みであり、ONU等関係機器を各300台追加発注のため、4767万円追加し、契約金額を14億6664万円とするもの。

パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)北陸支社

### ケーブルテレビ伝送路工事

加入申込状況を基に、引込工事300件、放送系宅内工事1214件などの追加に伴い、1891万円を増額し、契約金額を11億523万円とするもの。

富士通ネットワークソリューションズ(株)北陸支店

### 同報系防災行政無線整備工事

屋外子局の追加と子局柱の一部立替えを行い、工期を延長するもので、798万円を追加し、契約金額を7億2198万円とするもの。

NECネットワークスエスアイ(株)北陸支店  
(以上3件全員賛成)

## 請負契約締結

### 都市計画街路福野神代線今市橋築造工事(その3)

今市橋延長49m、総幅員17・8mの上部架橋工事を行うもの。

契約金額2億5588万円。  
南建設(株)



### 快適な住環境整備を促進

### 農業集落排水事業(二所宮地区)処理施設機械・電気工事

処理施設内のFRP製ユニット8槽、中継ポンプ2台の設置および電気工事を行うもの。

契約金額6951万円。  
北菱電興(株)志賀営業所

### 公共下水道事業富来浄化センター場内整備工事

処理施設の土木および建築工事を行うもの。

契約金額4374万円。  
(株)西田組

### 公共下水道事業中継ポンプ設置工事(富来その1)

里本江、富来領家町および富来地頭町地内の5カ所に中継ポンプを設置するもの。

契約金額5404万円。  
荏原商事(株)金沢支店

## 行政委員を同意

定例会の最終日(9月17日)の追加議案に、任期満了となる次の行政委員(教育委員、固定資産評価審査委員)の同意案件が提出され、いずれも全会一致で同意しました。

### 固定資産評価審査委員

細川富士雄氏(福野)、濱野美能留氏(富来領家町)を再任、田中富士雄氏(高浜町)を新たに選任することに同意しました。

### 教育委員

任期満了となる教育委員会委員に小堀正宏氏(富来地頭町)を任命することに同意しました。



小堀正宏氏(富来地頭町)



細川富士雄氏(福野)



濱野美能留氏(富来領家町)



田中富士雄氏(高浜町)



現地調査で境界杭の確認をする地籍調査係

## 総務

委員長	越後	敏明
副委員長	松浦	恒義
委員	田中	正文
〃	寺岡	真真子
〃	櫻井	俊一
〃	山本	辰英

議会の3つの常任委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。9月定例会開会中の主な審議内容を報告します。

## 地籍調査費の減額 今後の計画は

**問** 地籍調査費が減額されたが、どういうことか。  
**答** 地籍調査事業は国・県の補助金が主体となっている。国はつきやすが、県は県全体の配分枠があり、要求どおりでないのが現状である。

**問** 今後、事業計画はペースタウンするのか。  
**答** これまでも、満額回答というのではなく、減額された範囲内で事業を進めている。来年、そういうことがないよう県に要望したい。

**問** 個人住民税の直接収納について、県と連携するといったことが新聞に載っていたが。  
**答** 町県民税の徴収事務について、滞納分を委託する予定である。近日に委託契約をする。  
**問** 徴収委託金は発生するか。  
**答** 県は無料で徴収し、町民税分をくれる。

## 放課後児童クラブの入所者増 来年度以降は

## 教育民生

委員長	橘	照茂
副委員長	戸坂	忠寸計
委員	下池	外巳造
〃	須磨	隆正
〃	林	一夫
〃	稲村	幸雄

**問** 放課後児童クラブで入所者が前年より41人増えた。来年度以降どのように考えているか。  
**答** 志賀地区で、今年が高浜小の1年生で、半数以上の希望者があった。児童館横の児童クラブでは、40人が限度であり、兄弟のいる25人ほどは堀松へ行っている状況である。

**問** 放課後児童クラブで入所者が減らないか。  
**答** 今後、児童数は減っても入所割合は減らないかと思う。  
**問** それだけニーズがあるなら、しっかりとやってほしい。  
**答** 診療所会計が黒字であり、人件費を診療所の利益(特別会計)で賄うと説明があった。赤字になれば、元の一般会計に戻すのか。  
**答** 黒字経営ということですが、今後、赤字になれば、元に戻すこともあるかと思う。



「いっぱいとれたよ」収穫したじゃがいもを前に大喜びの子供たち (児童館)

委員長 富澤 軒康  
 副委員長 南 政夫  
 委員 小田 芳治  
 // 辻 武美  
 // 久木 拓栄  
 // 木村 正男

# 産業建設

## 耐震配水管の更新は他の地区でしないのか



高齢化・労働力不足、土地条件が悪いなどの要因で耕作放棄が増加している。

**問** 水道事業で耐震配水管の更新を末吉、神代で行っている。他の地区はしないのか。

**答** 現在、耐震管の更新は、下水道工事に合わせて、町のメインとなる管で行っている。今後、他の地区でも、下水道工事に合わせて、メイン管についてはやりたい。

**問** 農地の耕作放棄地を調べていたが、新たな奨励する作物の方針があるのか。

**答** 国が自給率をあげる、耕作放棄地を無くすという目的でやっている。具体的な政策を出そうにも数字が乱立しているため、正確な数字の把握をして、新たな支援を考えようと調査している。

## みんなの声を国政に 意見書

第3回定例会で2件の委員会提出の意見書が提出され、全会一致で可決されました。可決された意見書は、関係機関に提出し、実現するよう要請します。

◆新たな過疎対策法の制定に関する意見書  
 提出者 総務常任委員長 越後 敏明

(意見書要旨)  
 現行の過疎地域自立促進特別措置法は、平成22年3月末をもって失効することになるが、総合的かつ抜本的な過疎対策を講じ、過疎地域の振興が図られるよう、新たな過疎対策法の制定を要望する。

◆道路整備の促進に関する意見書  
 提出者 産業建設常任委員長 富澤 軒康

(意見書要旨)  
 地方の実態を十分に踏まえ、道路整備に必要な財源を確保するとともに、地方への配分割合を高め、地方道路整備臨時交付金制度についても、地方が主体的に道路整備を行えるような財源を確保・拡充することを強く要望する。



開局記念式典で祝辞を述べる林議長

## ケーブルテレビが全面開局

町ケーブルテレビネットワーク開局記念式典が10月9日役場で行われ、議長をはじめ議員らが出席して開局を祝いました。林議長は、「最先端の設備を効率的かつ有効に運用いただき、更なる住民福祉の向上を図ってほしい」と祝辞を述べました。

この事業は、役場本庁舎にセンター設備を設け、町内全域に光ファイバーケーブルを敷設し、加入者への自主放送をはじめ地上波デジタル放送、多チャンネル放送を提供する放送サービスと、IP音声告知端末による防災行政放送、町内IP電話、光インターネットなどを提供する通信サービスを提供するものです。

# 新志賀高校の支援の取り組みは

## 県と連携しながら検討し取り組みたい

町長



新志賀高校の校舎として使用される高浜高校校舎。  
(写真は高浜高校文化祭の様子)



富澤 軒康 議員

**富澤** 統合校は地域ぐるみで育てていかなければならないが、どのような取り組みを行うのか。  
**町長** 次の3点の取り組みを検討している。

- ① 仮称だが、志賀高校教育振興会を設立して、地域の学校としての支援体制の確立。
  - ② 広報活動の充実。
  - ③ 部活動の充実のための支援。
- 具体的かつ効果的な支援のあり方は、高校をはじめ関係者と連携しながら検討し、取り組みたい。

**富澤** 保護者の認識と理解を深めるうえで、志賀・富来合同で新志賀高校の説明会を開催すべきである。  
**町長** 県と協議しながら、期待に沿うように進めたい。

**富澤** 校舎の耐震はどうなるのか。町が工事を請け負うことは可能か。

**町長** 県から、「なるべく早く検討したい」との回答を得たが、一刻も早く生徒が安心して勉強できるように、強く要望したい。町が工事を請け負うことは難しい。

**富澤** 富来方面からの通学の方法は。通学費の補助はあるのか。

**町長** 県から、「スクーリングバスの運行も考えられるが、地域の路線バスの利用者の減少など、公共交通に影響が出る可能性もあり検討している」との回答をもらっている。一刻も早い解決を得るよう働き掛けたい。

**富澤** 町の県への要望書に基づいた志賀高校の理念や教育内容を県は既に作成しているのか。  
**教育長** 県教育委員会から、来年4月の開校に向け、特色となる理念、教育目標などを作成したが、町からの要望等も十分考慮したものの回答をもらっている。

## ふるさと納税に寄せられた寄付金 どのように活用するのか 総合計画に基づいた事業 に活用する 町長

**富澤** ふるさと納税制度について、当町の現状は。今後どのように、この制度の推進を図るのか。  
寄せられた寄付金は、具体的にどのような活用をする予定か。

**町長** 現在3件、17万円の寄附と2件の申し込みがある。  
PRについては、インターネットのホームページによるお知らせ、町外への広報にチラシを同封した。今後は、県外の町関連の団体へ、順次働きかけたい。  
寄附金は、特定の目的に活用するのではなく、総合計画に基づいた事業に活用することとしているが、今後の件数、金額によって、寄附者のふるさとに対する思いを大切にしたい対応をしなければならないと考えている。

## 地域医療の現状認識は

### 体制の維持が極めて重要

町長



寺岡 真貴子 議員

**寺岡** 地域の医療の現状認識と、富来病院、志賀クリニックの果たすべき役割をどのように考えているか。

**町長** 町内で最低限必要な医療が受けられる体制の維持が極めて重要。

富来病院は、地域における医療・救急医療の拠点として、その維持が極めて大切である。

志賀クリニックは、子供を安心して育てられる環境整備のため、貴重な小児科施設であり、高齢者をはじめ住民の健康を守るため、より多くの方々に利用してもらえ、施策を展開したい。

**寺岡** 総務省のガイドラインでは来年度から3年間の黒字転換が求められているが、具体的な方針は。

**町長** 地方債の繰上償還等による経費の節減、10対1看護の導入による収入増を予定。23年度までに経常収支を黒字にすべく努力する。

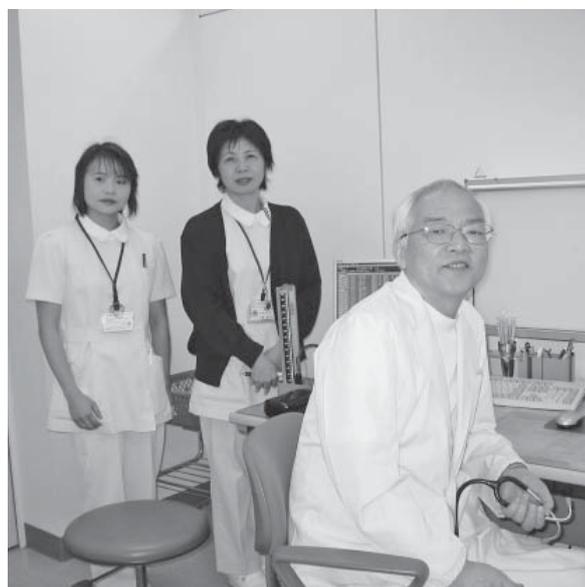
**寺岡** 厚労省の療養病床削減方針による富来病院の療養病床の今後の見通しは。

**町長** 24年度までに、介護型療養病床18床は、医療型療養病床に移行して高齢者医療に備えたい。

**寺岡** 医師・看護師確保の取り組みの考えは。

**町長** 毎年、大学病院へ強く要望。20年度には小児科医師が常勤となる効果があった。今後も継続して要望を続けたい。

看護師については、奨学金制度の導入も視野に入れて検討し、地元出身者のUターンと併せて看護師不足の解消に取り組みたい。



地域における医療・救急医療の拠点としての役割が期待される富来病院。(写真は宮谷病院長とスタッフ)

**寺岡** 地域医療再編と救急搬送体制について、医療が広域化するにつれて救急体制にも影響がでると懸念される。

**町長** 救急医療体制の構築が欠かせない。関係機関との協議をより綿密に進めていきたい。

**寺岡** 夜間の病院の勤務環境の過酷な状況を、住民に改めて理解し、適切な受診行動を促すべく、啓発も行う必要があるのではないかと。

**町長** 適切な広報活動で協力を求めている。

**寺岡** 志賀クリニックの診療所会計も企業会計を導入すべきでないか。

**町長** 地方公営企業法の適用から除外されている。

**寺岡** 富来病院では、能登脳卒中クリニックパースの始動により、どのような取り組みがあるのか。

**町長** 情報共有が目的。脳卒中の患者が入院すると、許可を得て、本部の情報システムに患者登録し、他の病院などに移るときに、情報を伝えるとともに、本部に再登録することになっている。

**寺岡** 富来病院、志賀クリニックに対する地方交付税の状況と今後の見通しは。

**寺岡** 富来病院、志賀クリニックに対する地方交付税の状況と今後の見通しは。

**町長** 富来病院分は約8千万円、志賀クリニックは旧志賀町が不交付のため交付はない。

今後の見通しは予測がむずかしいが、住民生活に直結するものであり、大きな改正はないと思っている。

**寺岡** 採血用穿刺器具の複数人使用について、その後の対応は。

**町長** 謝罪するとともに、B型、C型肝炎の検査の案内をした。162名のうち160名が検査を受け、異常が無かった。1名は検査を受けないと返答、もう1名は今後受けてもらう予定。

## 第6回全国原子力発電所立地市町村議会サミット

# 原発立地市町村議員が活発に意見交換



全国から400人の議員が参加して、活発な意見交換をした原発サミット

全国の原発を立地する市町村議会議員が一同に会し、国や電力事業者も交えながら、原発の安全と安心を求めて、様々な議論を行うサミットが8月26日、27日の両日、東京都内であり、当町から14名の議員が参加しました。

今回のサミットのテーマは「21世紀のクリーンエネルギー」その安全・安心・信頼」である。サミットは全国から約400人の議員が参加し、全体会、そして、耐震設計審査指針見直しに伴う課題、核燃料サイクル政策とプルサーマル、国と原子力

発電所立地地域との信頼関係、原子力施設の検査制度の見直しに伴う課題、地域共生と地域振興策に分かれた分科会に参加し、その後は全体交流会も開催された。

サミットは原子力政策に賛成・反対の立場を超えて、議員同士が熱く議論するところに意義を見出している。

閉会式では、「国も国民への働きかけを積極的に行い、立地地域の苦勞が報われる社会を熱望する」との大会宣言をしてサミットを閉会した。

原発立地という共通点があっても、それぞれの地域性によってさまざまな異なる問題があり、とても参考になった。

## 石川県町村議会議長会議員研修会 地方議会の活性化をめぐる

石川県町村議会議長会議員研修会が8月8日、金沢市内で開催され、13名の議員が参加した。

研修会では、中央大学法学部の今村都南雄教授が「地方議会の活性化をめぐる不透明な議会改革」のテーマでの基調講演があった。

議長会議長会地方議会活性化研究会委員となっており、ご自身が参加されたの考えを講演された。

教授は、分権改革の象徴として議会改革が求められており、地方議会も自主改革の積み重ねが必要であると話され、議会活性化に向け、大変参考になった研修会であった。



県内9町の議員が議会活性化について研修した。

## 生ゴミ、下水汚泥からバイオマス発電

# 循環型社会への取り組みを視察



小型バイオマス発電装置を視察する議員。  
事業所内で生ゴミを処理し、発電が可能な自己完結型の設備である。

この集約汚泥処理システムによる効果は、施設の建設費と維持管理費のコストダウン、汚泥処理で発生するエネルギーや資源の効率的利用、汚泥



下水汚泥を利用して発電する取組を視察する議員。

当議会では、町の環境施策の参考とするため、原発サミット終了後の8月27日、28日に、東京都江戸川区にある日本エコ発電(株)東京エコ発電センター、横浜市環境創造局北部汚泥資源化センターの視察を行った。

### 日本エコ発電(株)東京エコ発電センター

日本エコ発電は、平成11年11月に、生ゴミの燃料電池を活用したバイオマス発電に、世界で最初

に成功している。

エコ発電センターでは微生物が入った嫌気的状況の発酵槽でメタン発酵をさせる。センターの両隣はマンション、オフィスビルだが、生ゴミの臭いによる苦情は今まで無いとのことだった。

1時間当たり30kWの発電能力があり、メタンガスを主体にしたバイオガスをマイクロガスタービンに送り、発電している。発電した電気は施設で使用している。最近、小型バイオマス

発電装置を開発して、温泉施設の大江戸温泉物語(江東区)とリース契約を結んでいるとのこと、その装置も視察してきた。

一日当たり300kgの生ゴミを処理でき、最大で一日60kWの発電が可能としている。

### 横浜市汚泥資源化センター

横浜市では市内11カ所の下水処理場から発生する汚泥を、南北2カ所の汚泥処理センターに送泥管によって集約し処理している。

処理施設の周辺環境対策の効率的な実施である。

この施設の特徴は、汚泥を発酵させて、消化ガスを取り出し、ガスエンジンを使って電気を発電し、所内の電力の約70%を賄っている。また、エンジンから発生する廃熱も、消化タンクの加温等に使用している。

また、焼却灰は、建設材料として100%有効利用している。

今、地球温暖化防止や

廃棄物の減量化・適正化処理、資源の再利用体系の確立は、人類の重要な課題として注目されている。

限りある資源やエネルギーに配慮した循環型社会への転換を図るため、徹底した環境負荷の削減が求められている。

ゴミの発生抑制、資源の再利用・再資源化を進める循環型社会をめざす取り組みは、費用などの課題は多いが、大変参考となった。

# 第19回志賀町「富来を描く美術展」鳴瀬賞の作者に聞く!



作品名「松林をぬけて」



中林 勇人 さん  
(金沢市)

能登の祭りの中でも、とりわけ古格を重んじる富来八朔祭礼は私をひきつけてやみません。今回、このような賞をいただき、改めて身の引き締まる思いです。力が及ぶ限り描き続けたいと思います。素晴らしい文化財を伝えてくれた先人にも感謝したいと思います。

芸術文化の振興を願い、志賀町の美しい自然や生活、産業や夢などを描いていただく公募展を毎年開催しています。昨年の11月には第19回の審査が行われ、次の方、鳴瀬賞に選ばれましたので、作者の感想を交え、ご紹介させていただきます。

## 私たちの議会傍聴記

議会の傍聴お勧めです。  
新町づくり頑張るぞ。



鳥越善次郎 さん  
(福浦港)

初めて議会を傍聴した。恥ずかしながら、町政への関心は決して高いものではなかった。

町が大きくなったからか、町意識とでも言おうか、それが未だ遠くに感じられ「ピンと来ない」のが正直な気持ちである。折しも町内会の役があったり、地域や町への関心が高まってきた矢先であり、興味を持って臨めた。

新町になって3年が過ぎようとしている。旧両町の心の面の融合には時間を要するとしても、合併に伴う課題(両町の格差等)を克服し、明日の新志賀

町へ飛び立つ頃でないかと思っ

ている。  
議会での質疑、応答ともに真剣でいい雰囲気で行進していた。この真摯な取り組みの暁には、ジョンとする町が見え、「ピンと来る」日が遠からず来

もっといろいろな質問で町政を知らせて欲しい。



西田 博子 さん  
(川尻)

川尻地区の区と婦人会合同で議会傍聴をした。平日ということもあり、参加者9名と少なかったが、皆初めてのことであり興味深く議場に入った。当日は2議員による一般質問があり、なかでも小児科診療施設

設等についての質問は身近で、子どもを持つ親なら誰もが不安に感じていることで、思わず身を乗り出して聞き入るほどであった。

常に私たち町民の側に立って諸施策を実行してくれていること、また質問や答弁の内容から町の現状や将来のことを知ることができ、大変有意義な時間を持つことができたと感じる。

今回、質問された議員は2人だけだったが、もっと、いろいろな質問を通じて、町政の中身を町民に知らせて欲しいとの感

を持った。  
家庭に配布される「議会だより」をゆつくり読もうね」と感想を話しながら議場をあとにした。

### 議会広報特別委員会

発行責任者	議長	林 一夫
委員長	橘 照茂	
副委員長	田中 正文	
	越後 敏明	
	富澤 軒康	
	櫻井 俊一	
	戸坂忠寸計	